

(2) 交流促進に向けた 本協議会の取組状況について

■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■サイクリングコースの整備（統一された規格等整備）

【取組み概要】

安全で快適なサイクリング環境整備を目指し、ブルーライン、コース案内板、注意喚起看板など統一規格等によるサイクリングコースの整備を推進するため、環瀬戸内海の地域において推奨サイクリングコースを選定するとともに、熟度が高いモデルコースから優先的に整備する。

【内容】

推奨サイクリングコースの選定基準の決定及び選定

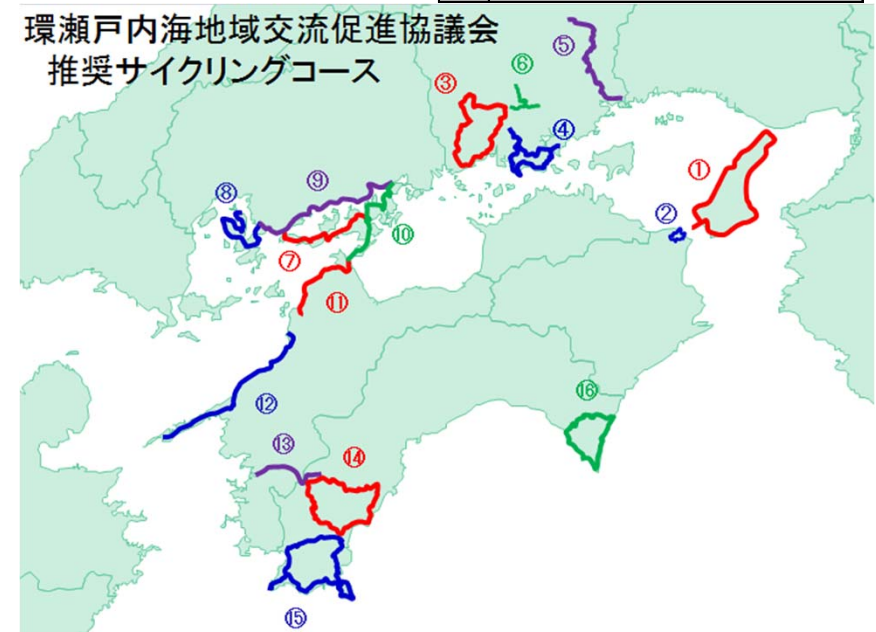
- 1)「食」の輪・・・①施設等が3箇所以上
- 2)「歴史・文化」の輪・・・②施設等が3箇所以上
- 3)「こころ」の輪・・・③施設等が3箇所以上
- 4)「まるまる」の輪・・・①②③のいずれかの施設等が5箇所



【取組効果】

各県から協議会の推奨サイクリング16コースを選定

NO	コース名
①	淡路島一周(アワイチ)コース
②	鳴門海峡渦潮サイクリングルート
③	備中周回ルート
④	倉敷玉野周回ルート
⑤	日生津山ルート
⑥	吉備路自転車道ルート
⑦	とびしま海道サイクリングロード
⑧	かきしま海道サイクリングロード
⑨	さざなみ海道サイクリングロード
⑩	しまなみ海道サイクリングロード
⑪	今治・道後はまかぜ海道
⑫	伊予灘・佐田岬せとかぜ海道
⑬	宇和島・四万十だんだん海道
⑭	四万十ヘブンズロード
⑮	足摺チャレンジコース
⑯	室戸世界ジオパークコース



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■利便性向上に向けた取組

（しまなみ海道自転車道無料化の継続）

【取組み概要】

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金の無料化は、本四高速(株)が、期間限定の企画割引で実施している。通行料金が無料となったことにより、料金の支払いに伴う一旦停止が不要となり、安全で快適なサイクリングが気軽にでき、瀬戸内の絶景が楽しめることも相まって、国内外から多くのサイクリストが高速道路などを利用して訪れ、沿線の観光施設等は大変にぎわっている。

【内容】

平成28年4月1日～平成30年3月31日

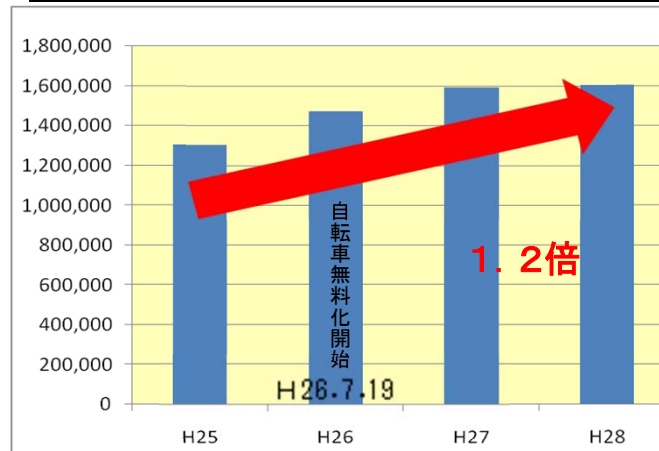
今治市～尾道市までの瀬戸内しまなみ海道自転車通行料金(500円)を減収補填することにより無料で利用

【取組効果】

◆レンタサイクル貸出台数の推移（H23～H28）



◆主要観光地（※1）の入込客数の推移（1～12月）



【※1 主要観光地】

広島県側：サンセットビーチ、因島水軍城、因島洋らんセンター、尾道市立美術館、千光寺ロープウェイ

愛媛県側：多々羅しまなみ公園、マリンオアシスはかた、村上水軍博物館、ようみローズ館、サンライズ糸山



瀬戸内しまなみ海道料金所

※料金投入のために停止する必要がなくなりました。



サイクリングしまなみ2016

※国内では唯一高速道路本線を通行できるサイクリング大会



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■サイクリングに関する広報連携

【取組み概要】

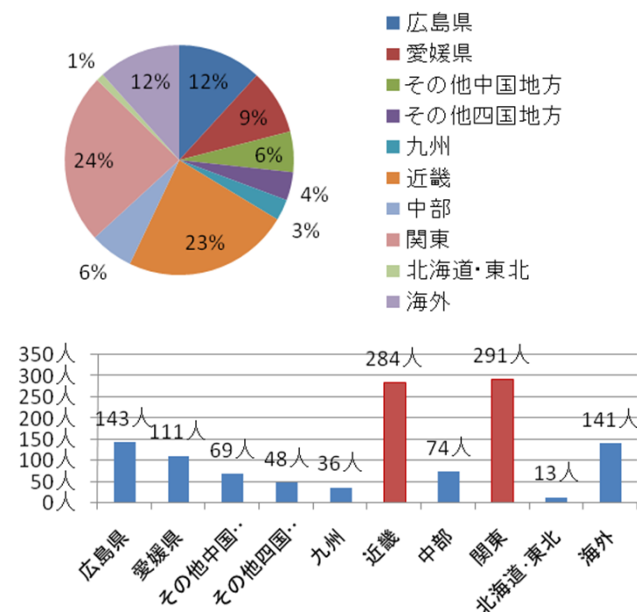
サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する情報発信を実施している。

【内容】

環瀬戸内海地域におけるサイクリングコースやサイクリング大会等について、自転車フェスでのPR及びHP等で情報発信

【取組効果】

◆しまなみ海道自転車道利用者に対するアンケート結果



※居住地は、
関東 24%
近畿 23%
海外 12%
を占めている

※広域的な交流
促進が図られて
いる。

自転車フェス(サイクルモードインターナショナル)でPR 11月4日
日～6日千葉県幕張メッセにて、約27千人の来場者に対して、
瀬戸内しまなみ海道自転車道等をアピール



自転車フェス(埼玉サイクルエキスポ)でPR
2月13日～14日埼玉県 さいたまスーパーアリーナにて、約36千人の
来場者に対して、瀬戸内しまなみ海道自転車道等をアピール



外国人を対象としたサイクリング体験の実施
12月3日サンライズ糸山において、マナーアップ講習会を実施その後、
瀬戸内しまなみ海道をサイクリング体験



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（今後の取組）

【愛媛県・広島県】

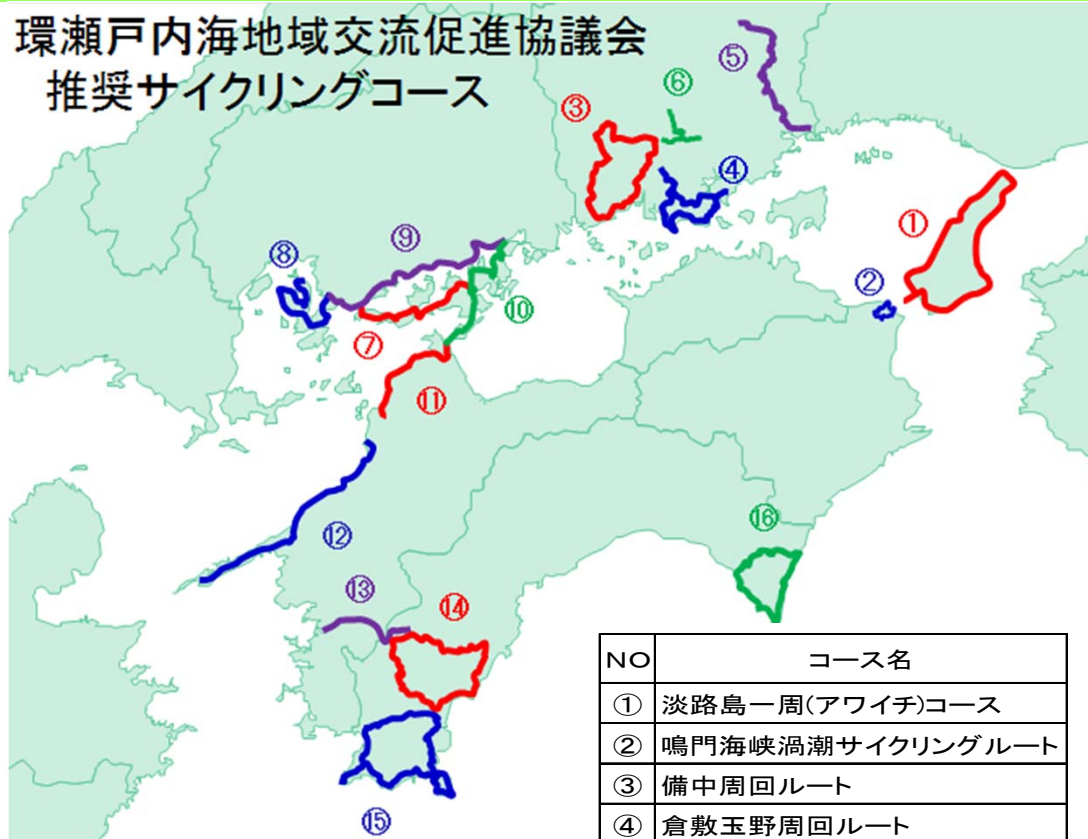
【今後の取組】

今年度は、

- サイクリングコースの整備（統一された規格による整備）
 - ◆協議会の推奨サイクリング 16コースの中から、熟度の高いモデルコースの選定について 検討・調整し、整ったところからコースを決定
 - ◆モデルコースについて、統一した規格等により整備を実施
- 利便性向上に向けた取組
 - ◆しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続要望（H30.4～）
 - ◆アンケート調査の実施を実施し、ニーズを検証
- サイクリングに関する広報連携
 - ◆H Pの更新、情報発信
 - ◆サイクリングに関するフェス等で環瀬戸内海サイクリングコースに関する魅力発信

【取組効果】

- 国内外のサイクリストが安全・安心にサイクリングコースを周遊
- 協議会の推奨コースを利用したサイクリング大会の開催
- レンタサイクル貸出台数、主要観光施設の入込 客数、自転車交通量等が増加



自転車利用者の増加



自動車利用者の増加



広域的な交流促進

NO	コース名
①	淡路島一周(アワイチ)コース
②	鳴門海峡渦潮サイクリングルート
③	備中周回ルート
④	倉敷玉野周回ルート
⑤	日生津山ルート
⑥	吉備路自転車道ルート
⑦	とびしま海道サイクリングロード
⑧	かしま海道サイクリングロード
⑨	さざなみ海道サイクリングロード
⑩	しまなみ海道サイクリングロード
⑪	今治・道後はまかぜ海道
⑫	伊予灘・佐田岬せとかぜ海道
⑬	宇和島・四万十だんだん海道
⑭	四万十ヘブンズロード
⑮	足摺チャレンジコース
⑯	室戸世界ジオパークコース

■ サッカー公式試合での交流促進（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■ 本州連絡道路の利用促進のための P R

【取組み概要】

サッカー Jリーグ公式戦の観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるよう本協議会で取組んでいる成果等を P R

【内容】

本四間の交流促進に繋がるための P R

サッカー Jリーグ公式戦の試合会場で観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等（スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承）により P R を実施

◆香川県丸亀市で開催されたカマタマーレ讃岐（ホーム）対ファジアーノ岡山の試合で、香川県・本四高速(株)が連携してブースを出展し、本四利用促進と香川の観光パンフレットを配布するなど P R を実施。(H28.6.26 観客数6,716人)

◆愛媛県砥部町で開催された愛媛 F C（ホーム）対ファジアーノ岡山の試合で、愛媛県・広島県・本四高速(株)が連携してブースを出展し、本四利用促進と愛媛県・広島県の観光パンフレットを配布するなど P R を実施。(H28.8.11 観客数5,747人)

【取組効果】

サッカー公式戦（J 2）で本四間の交流促進 P R を実施

カマタマーレ讃岐対ファジアーノ岡山 (H28.6.26)
香川県・本四高速(株)岡山管理Cが連携してブース出展(試行)



愛媛FC対ファジアーノ岡山 (H28.8.11)
愛媛県・広島県・本四高速(株)しまなみ今治管理Cが連携してブース出展



■ サッカー公式試合での交流促進（今後の取組）

【愛媛県・広島県】

【今後の取組】

今年度は、本四間の交流促進に繋がるためのP R

サッカーJリーグ公式戦の試合会場で観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等（スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承）によりP Rを実施

◆香川県丸亀市で開催されたカマタマーレ讃岐（ホーム）対ファジアーノ岡山の試合で、香川県・本四高速(株)が連携してブースを出展し、本四利用促進と香川の観光パンフレットを配布するなどP Rを実施済。
(H29.4.16 観客数6,872人)

◆徳島県鳴門市で開催される徳島ヴォルティス対ファジアーノ 岡山の試合でブース出展し、本四利用促進と徳島・兵庫の観光パンフレットを配布するなどP Rを実施【徳島県・兵庫県・本四高速(株)】
(H29.9.16 観客数4,203人)

◆愛媛県砥部町で開催される愛媛F C対ザスパクサツ群馬の試合でブース出展し、本四利用促進と愛媛県・広島県の観光パンフレットを配布するなどP Rを実施【愛媛県・広島県・本四高速(株)】
(H29.11.12)

四国の主要観光地の入込客数



【取組効果】

■観光客や公式試合の各客数の増加を期待するとともに、スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承等様々な取組みのP R

カマタマーレ讃岐対ファジアーノ岡山(H29.4.16)
香川県・本四高速(株)岡山管理Cが連携して
ブース出展



徳島ヴォルティス対ファジアーノ岡山(H29.9.16)
徳島県・本四高速(株)徳島管理Cが連携して
ブース出展



■ インフラツーリズム（前年度の取組と効果）

【取組み概要と取組み効果】

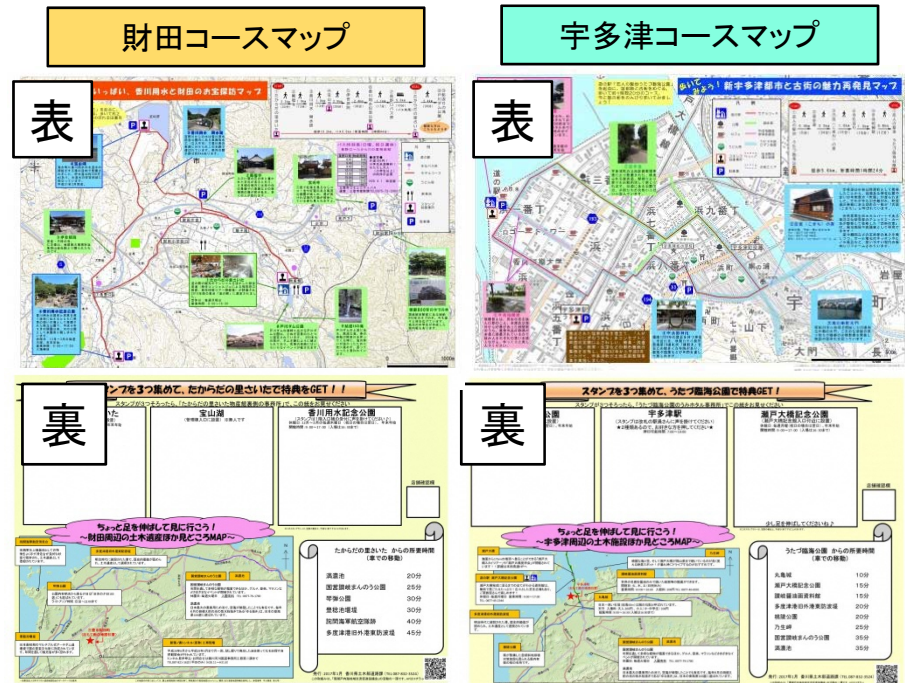
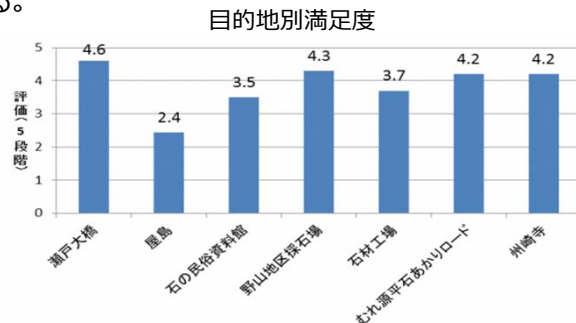
土木構造物を観光資源化とするインフラツーリズムの取り組みの可能性や課題を検証するため、県内で2つのモデルコースを設定した。コースマップを作成し、関係施設での配布やHPでの無料ダウンロードを可能にし、一般の方が自由に参加できるような仕組みとした。マップには、道の駅やJRの駅、資料館などでスタンプを集めると道の駅で特典が貰えるスタンプラリーを作成し、楽しみながら施設を巡ることが可能となっている。

（前年度作成モデルコース：財田コース、宇多津コース）

○インフラツーリズムモニターツアー

平成28年12月1日（木）に四国地方整備局及び本四高速(株)の協力の下、インフラツーリズムのモニターツアーを実施した。北備讃瀬戸大橋主塔、石の民俗資料館、庵治石野山地区採石場ほかをバスで巡った。

非日常体験を評価する意見が多く、概ね好評であった。目的地別満足度は、瀬戸大橋、野山地区採石場が高く、スケールの大きい構造物や現場が好まれる傾向がある。



■ インフラツーリズム（今後の取組）

【香川県】

【今後の取組】

今年度は、前年度作成したコースのPRを行い、認知度をアップさせ参加者を増やす取組みを行う。

例）本四高速の観光情報紙「瀬戸マーレ」との提携。

紙面のほか、本四高速HPにも掲載。

- ・環瀬戸HP 年間アクセス数 約1.5万件
- ・本四高速HP 年間アクセス数 約71万件

今年の冬号（12月発行）から、インフラツーリズムにスポットを当てて連載することを検討中。

第1回目は、香川県の宇多津コースを取り上げる予定である。



瀬戸内の島で感動と出会う夏。
島絶景

2017 Summer Vol.33



特集1 香川県 志々島
樹齢1200年の大楠は、森の巨人のようだった。



特集2 岡山県 北木島
そそりたつ岩肌がダイナミックな石の島



特集3 広島県 大久野島
ウサギに導かれて知る地図から消された島



SA・PA
本四高速道路 SA・PA
絶景・グルメ



Artのすめ vol.32
眺望までも好きになる美術館



車輪さんと遊ぼう
四国八十八ヶ所霊場 その13
阿波国の難所から望む、緑の山並み



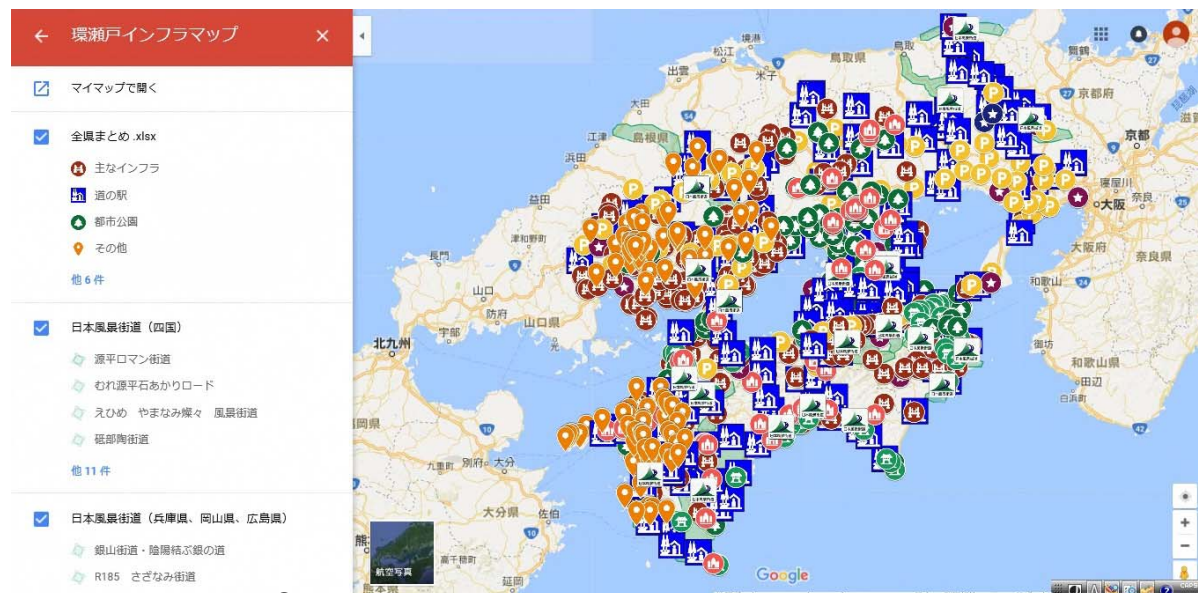
バックナンバー

○環瀬戸インフラマップの利用

環瀬戸内海地域の各県がピックアップしたインフラ施設（道路施設、土木遺産、寺社、SAPA等）を、一つのマップ上に落としたものを作成し、環瀬戸HPに掲載することを検討中。



このマップを元に、**新たなインフラツーリズムのコース作成**を検討していく。



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（前年度の取組と効果）

【香川県・岡山県】

○瀬戸大橋スカイツアー

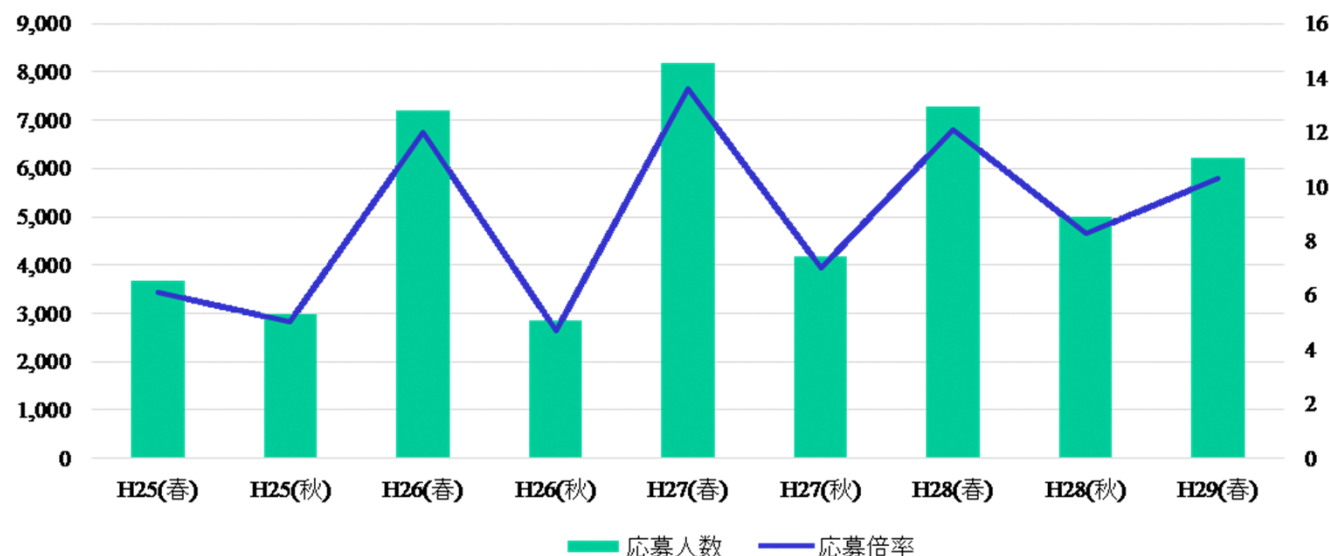
【取組概要】

- ・内容：瀬戸大橋線が真横を駆け抜ける管理用通路や、海面から175mの瀬戸大橋の塔頂など、一般の方が普段立ち入ることができない施設内を案内する。
- ・主催：瀬戸大橋利用促進共同事業実行委員会
（岡山県・香川県・本四高速）
- ・期間：平成28年5月21、22、28、29日 10月15、16、22、23日
- ・予算：平成28年度予算額：600,000円（参加料500円／人）
- ・参加者：定員150名/日

【取組効果】

- ・少雨の場合は開催するが、参加者は他の日に比べ少ない。
（春と秋に1日ずつ雨天であったが、参加者は143名と144名）
- ・H28年度より、当日キャンセルで欠員が出た場合は、与島PAに来られた方を対象に先着順で当日参加受付を行うこととした。秋のキャンセル待ち塔頂者は4日間で50名あった。
- ・春は36都府県と台湾、秋は38都道府県から応募があった。
- ・直近の4年間は春より秋の応募倍率が低くなっている。

スカイツアー応募人数、倍率推移



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（前年度の取組と効果）

【香川県・岡山県】

○瀬戸内海国立公園指定日記念行事「屋島ウォーク」

【取組概要】

- ・内容:「瀬戸内海国立公園」として、日本最初の国立公園の指定地となった屋島で、指定日の3月16日にウォーキングイベントを開催し、「世界の宝石」とも称される瀬戸内海の多島美景観を歩いて楽しみ、清掃活動を行うことで、屋島の魅力を再発見する。
- ・主催:香川県、高松市
- ・後援:環境省中国四国地方環境事務所、四国森林管理局
- ・協力:香川県里山ボランティアガイド組合、元気YASHIMAを創ろう会
- ・期間:平成29年3月16日

【取組効果】

「屋島ウォーク」へ参加したことで

- ・他の国立公園へも行ってみたいという興味が湧いてきた。
- ・他のイベントへも参加してみたい。

などの積極的な意見が聞かれた。

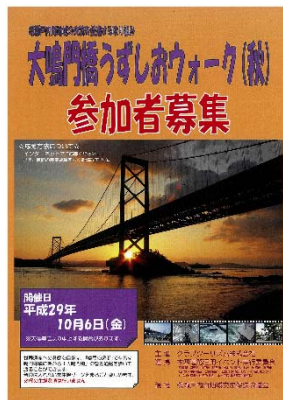
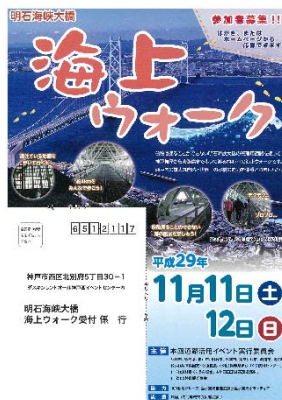


■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（今後の取組）

【香川県・岡山県】

【今後の取組】

- 今年度も、瀬戸大橋スカイツアーは春と秋の2回、各4日開催予定。
春：平成29年5月20日（土）、21日（日）、27日（土）、28日（日）
秋：平成29年10月21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）（全日中止）
- 国立公園ウォークは10月7日（土）に観音寺市有明浜で開催。浜辺を散策しながら漂着物を観察し、その中から宝物を探すイベントを企画した。
- 「屋島ウォーク」は曜日関係なく、3月16日に開催予定。
- 「第31回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ（平成30年3月10～11日）」は新コースを2つ加え、2日間で全8コースを企画。
- 「明石海峡大橋海上ウォーク（平成29年5月20、21日、11月11、12日）」春と秋に2回ずつの、計4回。1日1,200人を募集。
- 「大鳴門橋うずしおウォーク（平成29年4月28日、10月6日）」クラブツーリズム主催で、大阪・兵庫・京都からの3コースを用意。募集人数は計270名。
- 「第17回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ（平成29年10月13、14、15日）」昨年度は全国から5,470名が参加。



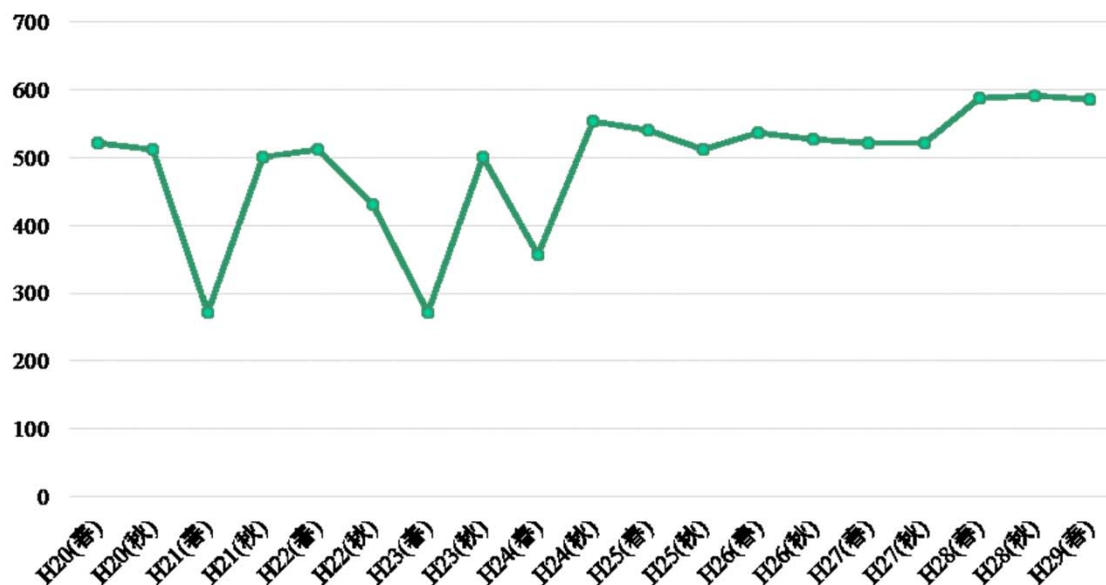
【取組効果】

○春のスカイツアー参加人数は587人（応募倍率10.3倍）。北海道から鹿児島までの38都道府県より応募があった。インターネットでの応募件数は2,066件、はがきは283件であり、インターネット応募が大半を占めている。なお、当日キャンセル待ちでの参加者は4日間合計で41名であった。

○H28年度より、当日キャンセルがあった場合に現地で先着順にて参加者を募集することとしたため、参加者数は定員の600名に近づいている。

○参加者が減っているH21（春）、H22（秋）、H23（春）、H24（春）は強風などの天候条件によりツアーが一部中止となったためであり、安全を考慮するとやむを得ない。

スカイツアー参加者



■ 歴史的遺産のネットワーク構築とPR（前年度の取組と効果）

【高知県】

環瀬戸内海地域に現存する貴重な木造天守やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定し、協議会や各県のHP等で広く発信することにより、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。

平成28年度 取り組み内容（実施済み）

○現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR

■広報資料（各施設を巡るルートや歴史などを掲載）



▲旅行会社への商談会（大阪）



▲協議会HPへの掲載

①各施設を巡るルートや歴史等を紹介した広報資料を活用したPR

- ・各県庁、出先機関（大阪事務所等）、道の駅、本四高速のSA・PA、店舗等にて広報資料（2,000部）を配布

②四国ツーリズム創造機構と連携した旅行会社に向けたPR

- ・場所：東京（第一ホテル東京）、大阪（ホテルグランヴィア大阪）
- ・期間：9月29日（東京）、10月12日（大阪）
- 四国ツーリズム創造機構が行う旅行会社に向けた商談会（参加人数約250名）にて、旅行会社に対し、広報資料を活用したPR

○「志国 高知幕末維新博」の会場やイベントと連携したPR

平成29年3月から高知県内で開催中の「志国 高知幕末維新博」のイベントに併せて、会場等で広報資料を配布し、取り組みをPR

■「志国 高知幕末維新博」メイン会場



■開催期間

（第一幕）H29.3.4～H30.4.20

（第二幕）H30.4.21～H31.3.31

■開催場所

メイン会場

高知県立高知城歴史博物館

（2017年3月4日一般公開開始）

高知県立坂本龍馬記念館

（2018年4月21日リニューアルオープン）

サブ会場

こうち旅広場（JR高知駅前）

地域会場

県内観光施設等 計20会場



①高知城

創建当時の姿を今に伝える、南海の名城

天守からは土佐24万石の城下町を一望できる。江戸時代からの木造天守が残る「現存12天守」のひとつで、本丸のすべての建造物が完全に残っている。

☎088-824-5701 高知県高知市丸ノ内1-2-1
☎9:00～17:00 国無休 国420円

■ 歴史的遺産のネットワーク構築とPR（今後の取組）

【高知県】

【今後の取組】

- ◇協議会HPを活用した情報発信
- ◇道の駅やSA・PAと連携した情報発信（チラシ等）を実施
- ◇「志国高知 幕末維新博」と連携し、会場やイベントでのPR
- ◇高知自動車道（大豊～南国）開通30年イベントでのPR

《企画の趣旨》

- ・今年で高知県にとって初めての高速道路が開通して30年（高知自動車道 大豊IC～南国IC）という節目を迎える。
- ・これを契機に、高速道路のストック効果やこれから先の延伸に対する地元の期待等を取りまとめたパンフレット等を作成し、開通日前後で開催するイベントにてPRを行う事で更なる利用促進につなげる。
- ・このイベントに併せ本取り組みのPRを行う事で、環瀬戸内海地域における交流促進が図られると考えている。

《参加予定イベント》

- ・H29.10.8 開通30年イベント（南国SA下り線）
 - ◆開通記念セレモニー、関係市町村観光PR、整備効果PR、事業PR
- ・土佐の豊穰祭（県内3会場：安芸市、黒潮町、大豊町）
 - ◆整備効果PR、事業PR



【高知道開通30年ロゴマーク】

高知県南国市の高知県立岡豊高校芸術コースの2年生が考案。見やすさを意識し、色や形を工夫。高知の豊かな自然や、夏の日差しの雰囲気伝わるデザインになっています。

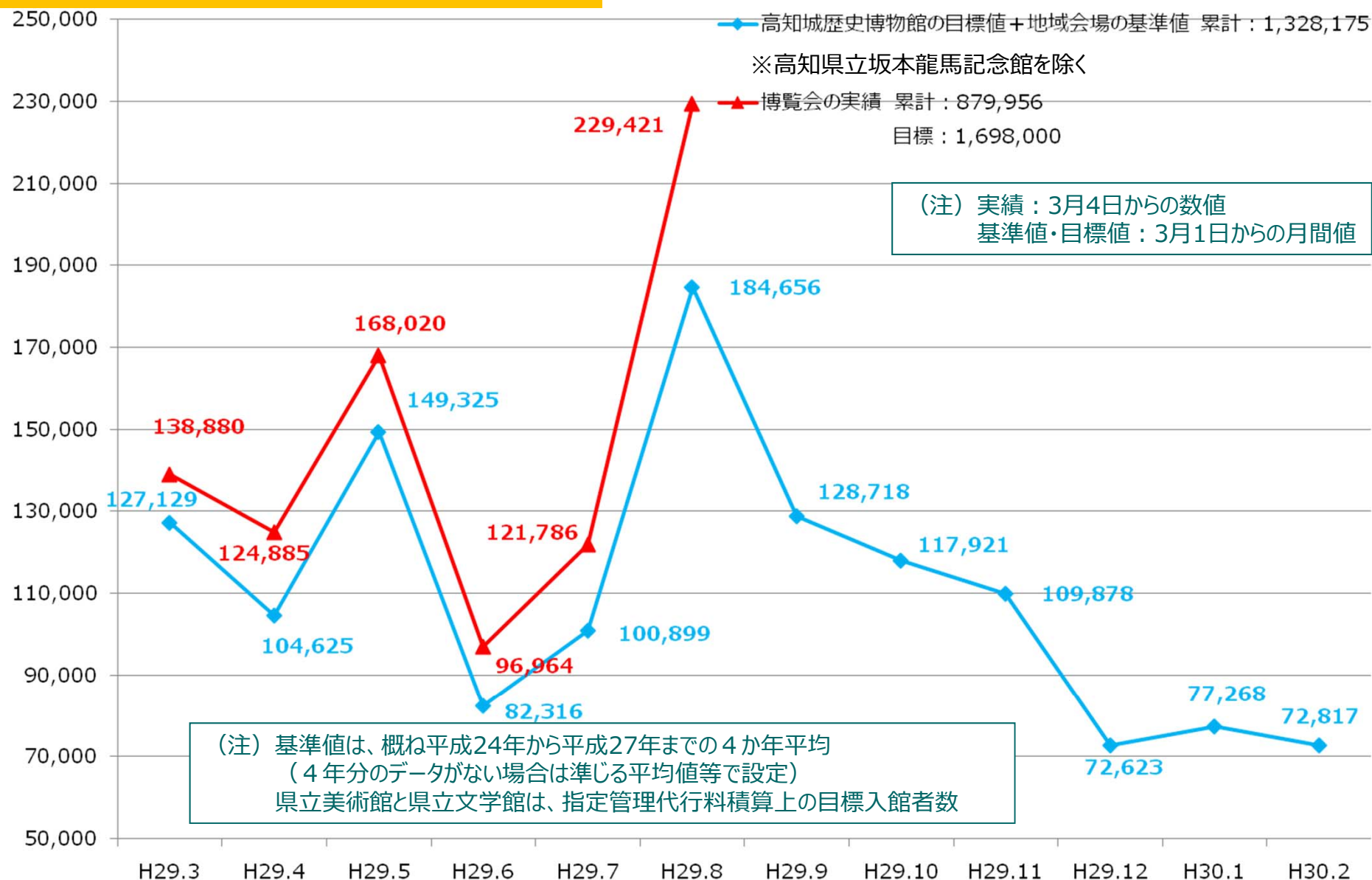
■ 昭和62年（1987年）10月8日 高知自動車道（大豊IC～南国IC）開通



■ 歴史的遺産のネットワーク構築とPR（取組効果）

【高知県】

志国高知 幕末維新博 入場者数合計値の推移



■ 文化芸術ネットワークの推進（前年度の取組みと効果）

【本四高速】

【取組み内容】

1. 文化芸術の輪の拡大

- （１）せとうち美術館ネットワーク参加施設の展覧会情報の紹介（月1回ホームページで内容を更新）
- （２）せとうち美術館ネットワークホームページにおいて、新たに美術館めぐりモデルコースを紹介
- （３）橋を渡って親子でアート鑑賞を以下のとおり実施

①実施日：平成28年7月24日(日)

コース：広島駅～しまなみ海道～平山郁夫美術館～今治市大三島美術館～しまなみ海道～広島駅
参加者：35名（応募235名）

②実施日：平成29年2月26日(日)

コース：岡山駅～瀬戸大橋～高知県立美術館～瀬戸大橋～岡山駅
参加者：40名（応募364名）



モデルコース



橋を渡って親子でアート鑑賞

■ 文化芸術ネットワークの推進（前年度の取組みと効果）

【本四高速】

2. 「せとうち美術館ネットワーク」の充実

（1）平成28年4月に1施設、平成28年10月に2施設が新たに参加（当初6施設→現在64施設）

（2）平成28年度より、美術館めぐりでお支払いいただいた観覧料が実質5割引となるように
図書カードでの還元やスタンプを集めれば参加施設のオリジナルグッズをプレゼントする

「せとうち美術館ラリー」を実施

（3）「せとうち美術館サミット」、「せとうち美術館ネットワーク特別講演会」を開催

実施日：平成28年11月27日(日)

場所：広島県立美術館

講師：（公財）かながわ国際交流財団 学術・文化交流グループ副主幹 野呂田純一氏
名古屋芸術大学 名誉教授 前田ちま子氏

内容：せとうち美術館ネットワーク参加施設の代表者及びアドバイザーが、新規事業や美術館
が日頃から取り組んでいる美術教育普及等について意見交換を行うもの

**「せとうち美術館ラリー」で、美術館をめぐって、
せとうち美術館ネットワーク参加の
「図書カード」や「美術館・博物館オリジナルグッズ」をゲットしよう！**

せとうち美術館ネットワーク
「共通割引券」利用者対象

応募方法

せとうち美術館ネットワーク冊子 → 共通割引券 → チケットの半券とスタンプ

▼チケット半券の合計金額とスタンプ数に応じて、
図書カード や 参加施設のオリジナルグッズ (オリジナルグッズの一例) をプレゼント!!

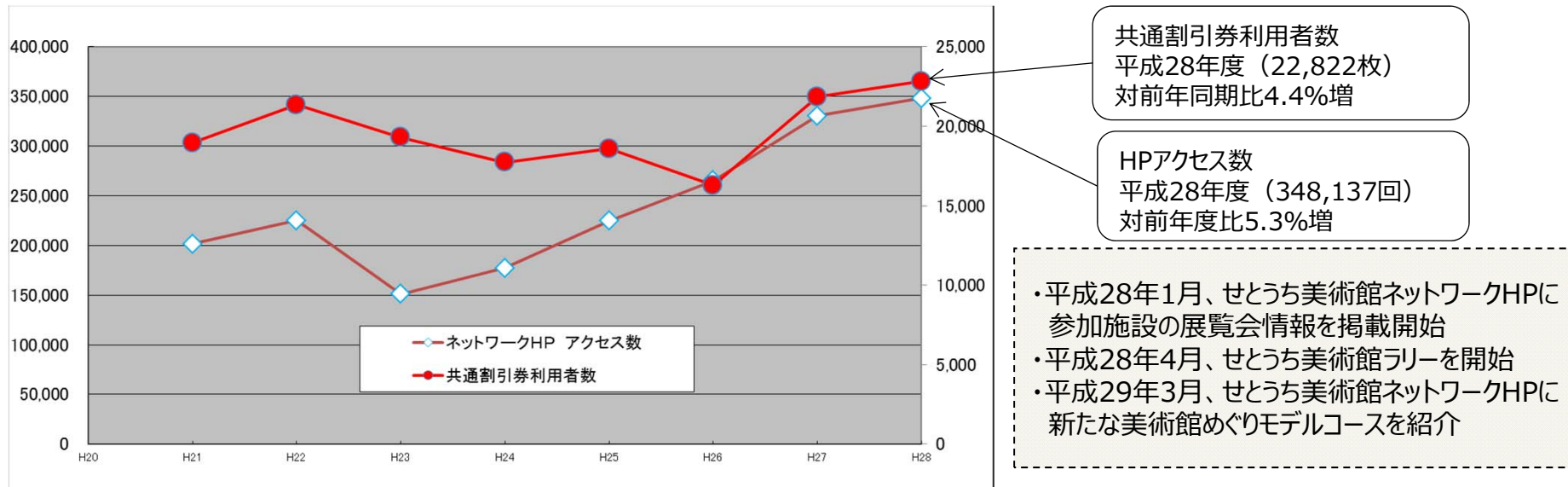
●オリジナルグッズ▶74～77ページ ●応募用紙▶79～86ページ(2セット) 【実施期間】平成29年4月1日～平成29年9月30日(消印有効)まで

せとうち美術館ラリー

■ 文化芸術ネットワークの推進（前年度の取組みと効果）

【本四高速】

【取組み効果】 共通割引券利用者数及びホームページアクセス数は増加傾向



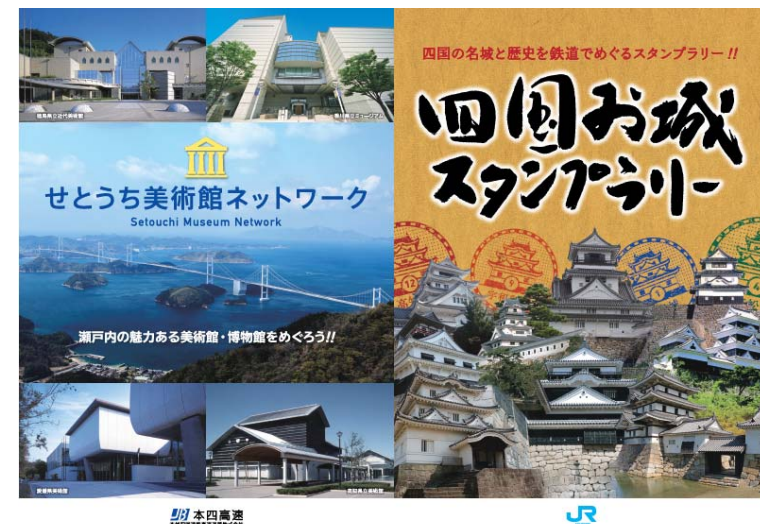
【今後の取組み】

○文化芸術の輪の拡大

- ・個別施策の継続
- ・JR四国との連携協定に基づく施策の企画・実施

○「せとうち美術館ネットワーク」の拡充・充実

- ・参加施設の拡充
(H29.10より新たに1施設が参画し、65施設として運用)



本四高速

JR

J R 四国との連携協定事業

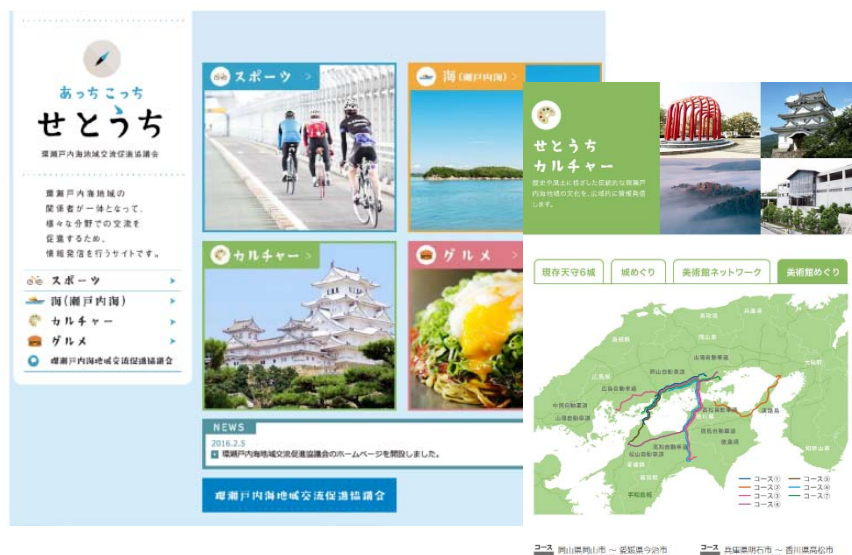
■ 協議会で実施する情報発信について

取組の概要

- 協議会サイトを開設し、各種取り組み情報を発信するとともに、関連団体とのリンクにより広域な情報発信
- 取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

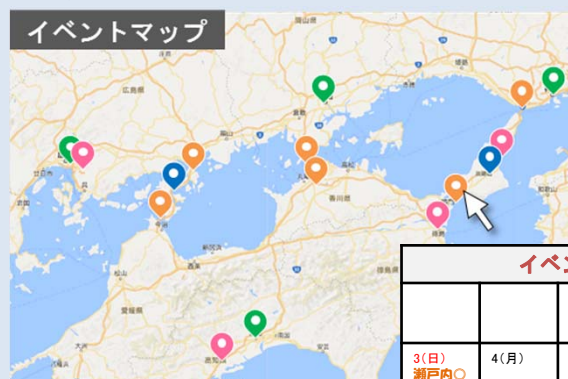
協議会サイトの充実に向けて

- 協議会の紹介、取組等の情報を発信するWEBサイトを、2016年2月5日に開設 (<http://www.kanseto.jp/>)
- 協議会において、取組を積極的に推進するとされた以下の4つのテーマを中心に構成
 - ①環瀬戸内海地域の「スポーツ」観光の振興
 - ②瀬戸内海の「海」の魅力発信
 - ③環瀬戸内海地域の「歴史や文化」のネットワーク化
 - ④環瀬戸内海地域における「食文化」の発信・伝承



【今後の展開】

- ①イベントカレンダーやイベントマップ等を作成し、イベント情報をわかりやすく発信。



イベントカレンダー ▲ 平成29年×月 ▼											
					1(金)	2(土)					
3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)					
瀬戸内○ めぐり		瀬戸内海 生物学セ ミナー				島ぐる メラリー					
10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)					
××サイ クリン グ大 会						××グ ルメ フェ ア					
17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)					
○フェ ス タ				××水 鼓 祭		○ス リ ー ド ー マ ー チ					
24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)					
						××海 の 祭					

- ②環瀬戸協議会での取り組み（インフラツーリズム等）を「瀬戸マーレ」（本四高速の観光情報誌）で取材し、ホームページで紹介。相互リンクにより「瀬戸マーレ」読者を環瀬戸ホームページに誘導する。

- ③関連団体等とのリンクにより、より多くの方にアクセスしてもらえる環境をつくる。

■ 食文化PR（前年度の取組と効果）

【徳島県・兵庫県】

【取組内容①】

◆ 地域イベントと連携した食のPR

各地域のイベントにて、食文化をはじめとする「環瀬戸内の魅力」や「広域ネットワークの効果」などを県内外に広く発信していく。

- ①グルメフェア（あつまれ「四国のへそ」とくとくフェア）の開催
H29.3.20 吉野川ハイウェイオアシス

39フェスティバル 環瀬戸内海のグルメが勢揃い



関係県の「着ぐるみ」7体も勢揃い



- ②食に関するパネル展を開催
サービスエリア等の5箇所で実施



【取組効果】

- ①観光客：3,000人，パンフレット配布：3,500冊
②パンフレット配布：1,200冊（総数）
パネル展等により環瀬戸内地域の食文化を発信するとともに、パンフレット配布により観光等もPR

【取組内容②】

◆ 神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

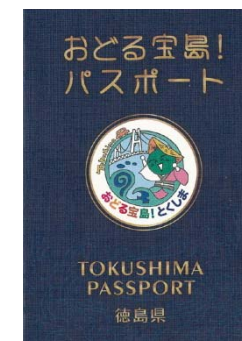
大鳴門橋や明石海峡大橋など壮大なスケールの公共インフラを活用し、観光誘客を図り、本四高速道の更なる利用促進に繋げる。

- ①大鳴門橋うずしおウォーク
H28.10.1～2

「民間事業者が行う旅行」と連携



- ②明石海峡大橋海上ウォーク
H28.5.21～22，H28.11.12～13



【取組効果】

- ①参加人数：264人
②参加人数：4,292人（2,255人+2,037人）
徳島県内と淡路島内の各種施設で提示すると特典が受けられる「おどる宝島パスポート」を活用し両県の食等をPR

■ 食文化PR（今後の取組）

【徳島県・兵庫県】

【今後の取組①】

◆ 地域イベントと連携した食のPR

パネル展等により環瀬戸内地域の食文化を発信するとともに、パンフレット配布により観光等もPR

① 食に関するパネル展を開催

- ・ H29.04 はなはるフェスタ（徳島市）
- ・ H29.09 徳島ヴォルティス ホームゲーム（鳴門市）
- ・ H29.10 淡路SA お客様感謝デー
- ・ H29.11 えひめ・まつやま産業まつり（松山市）
- ・ H29.12 上板SA まっちゃんぐフェスタin上板

初の試みとして **Jリーグサッカー公式戦**
「徳島ヴォルティス VS ファジアーノ岡山」戦で
ブースを出展



【取組効果】

- ① イベント参加人数で確認
- ② パンフレット配布数で確認

【今後の取組②】

◆ 神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

徳島県内と淡路島内の各種施設で提示すると特典が受けられる「おどる宝島パスポート」を活用し両県の食等をPR

① 大鳴門橋うずしおウォーク

H29.4.28 , H29.10.6

② 明石海峡大橋海上ウォーク

H29.5.21～22 , H29.11.12～13



初の試みとして「うずしおウォーク」を**平日**に開催

⇒ イベントスタッフは休日出勤となるため、
各機関ともに動員が年々困難な状況に



動員の負担軽減を目的として試験的に実施
春の「うずしおウォーク」では**参加人数 249名**
秋も平日に実施予定

【取組効果】

- ① 参加人数、参加者居住地、パスポート提出数で確認
- ② 参加人数、参加者居住地、アンケート調査で確認